

その他

● 社会との対話	269
● 社外からの評価	271
● 参画するイニシアティブ・業界団体	278
● 方針一覧	282
● サステナビリティ情報の編集方針	284

社会との対話

サントリーグループの事業活動は、多様なステークホルダーとの関わりの中で進められています。持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるために、私たちはステークホルダーへの責任を明らかにするとともに、さまざまなコミュニケーションを実施しています。いただいたご意見や社会のニーズを企業活動に反映し、高い信頼関係や協働関係を継続的に築いていくことを目指しています。

	エンゲージメントの目的	エンゲージメント手段
お客様	お客様満足を第一に考え、お客様との双方向コミュニケーションを大切にします。お客様からいただくご意見、ご要望に真摯に耳を傾け、きめ細かなコミュニケーションを図ることで、より良い商品・サービスの開発・改善につなげ、企業活動に活かしていきます。	● お客様センターでの問い合わせ対応 ● Webサイト上での情報開示 ● 営業部門におけるお客様対応 ● 工場見学 ● 各種イベント/セミナー
ビジネスパートナー	すべてのビジネスパートナーと、公正で公平な取引、安全衛生環境の向上、各種関係法令の遵守を通じて信頼関係を築くとともに、持続可能な社会の実現に向け、協働していきます。そしてお客様により良い商品・サービスをお届けします。	● 各種サプライヤー説明会 ● サプライヤーアンケートなどの実施 ● パートナーエンゲージメント ● ビジネスパートナーコンプライアンス・ホットライン
従業員	「人」こそがもっとも重要な経営基盤であると考えのもと、従業員一人ひとりがそれぞれの個性と能力を最大限に発揮し成長を続けることによって、サントリーグループ全体の価値を高め、さらなる高みへと成長を続けます。	● 従業員意識調査 ● 各種研修、イベント ● 社内報（冊子/イントラネット） ● 労使協議会 ● コンプライアンスホットライン ● 社内表彰制度
地域社会	事業活動が地域社会に与える影響を理解し、コミュニケーションすることで、地域社会との共生と価値の共創を図ります。事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。	● 文化/社会貢献活動 ● 地域活動への参画 ● 地域住民との対話 ● 行政/NGO/ NPOとの連携 ● 啓発活動
地球環境	地球環境そのものが大切な経営基盤であり、社会との共有資源であると認識しています。豊かで持続可能な社会を構築するため、グループ全体にこの考え方を浸透させ、自然環境の保全・再生と環境負荷の低減へ取り組み、持続可能な地球環境を次世代に引き継いでいきます。	● 各種イニシアチブへの参画 ● 自然環境の保全・再生活動 ● 事業における環境負荷の低減 ● 循環型社会への貢献

サントリーグループは、社会の期待や要請を的確に捉え企業活動に活かしていくため、さまざまなステークホルダーとの対話を積極的に行っています。

2023年に開催した意見交換会

サントリーグループでは、さまざまな部門が日常業務においてステークホルダー・エンゲージメントを実施しており、2023年はマテリアリティ特定の過程において、世界的な環境NGOであるコンサベーション・インターナショナルやWWF、人権NGOであるヒューマン・ライツ・ウォッチなどとのダイアログを実施し、NGOからの視点でサントリーグループが向きあうべき課題について示唆を得ました。

主なフィードバックは以下の通りです。

- リーディングカンパニーとして消費者の意識変革に期待する。水の保全を20年以上続けている実績は必ず消費者に理解されるので、さらに発信してほしい。
- 水リスク評価を基盤とし、自社の目標だけでなく、流域の人たちが抱える課題を解決していくネイチャー・ポジティブ経営を推進していただきたい。
水にまつわる人と自然の困りごとと一緒にアプローチしていくことに、サントリーグループが積み重ねてきたことが活かされる。
- ステークホルダー・エンゲージメントをより頻繁に実施し、日頃からカジュアルにNGOとの対話を実施して欲しい。
- 人権に関して何を目指すかを示し、目標と進捗を開示して欲しい。

サントリーグループは、今回実施したダイアログを含め、ステークホルダーからの貴重なフィードバックをサステナビリティ経営の推進に活用していきます。

過去の対話アーカイブ

2022年

「人と自然と響きあう」企業が生物多様性
とどう向き合うか



2021年

「サステナビリティ・ビジョン」策定後の取り組みに見るサントリーの未来



2019年

「サステナビリティ・ビジョン」の策定で見出すサントリーの真の価値



2018年

グローバル共通の取組み「水」を通じたサントリーグループの価値創造とは



2017年

グローバル共通の取組み「水」を通じてサントリーグループが社会に貢献できること



2016年

真に価値あるグローバル企業「SUNTORY」を目指して



※ 社名、拠点名、社員および外部の方の所属・役職は当時のものです

社外からの評価

2026年

2026年3月

「健康経営優良法人2026～ホワイト500～」に認定

サントリーホールディングス（株）、サントリービバレッジ＆フード（株）などグループ8社※は、「健康経営優良法人2026～ホワイト500～」の認定を受けました。

※ サントリー（株）、サントリーウエルネス（株）、サントリーグローバルイノベーションセンター（株）、サントリービバレッジ＆フード（株）、サントリービジネスシステム（株）、サントリーフーズ（株）、サントリープロダクツ（株）、サントリーホールディングス（株）の8社（五十音順）



2025年

2025年12月

「CDP気候変動」「CDP水セキュリティ」において最高評価の「Aリスト企業」に選定

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPから高い評価を受け、「CDP気候変動2025 Aリスト企業」「CDP水セキュリティ2025 Aリスト企業」に選定されました。



2025年12月

サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場がAlliance for Water Stewardship (AWS) 認証において最高位「Platinum」を取得

サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場（以下、北アルプス信濃の森工場）は、工場周辺流域の持続可能な水利用に関する「Alliance for Water Stewardship（以下AWS）」認証において、最高位である「Platinum」を取得しました。

2025年12月

人的資本情報開示の国際ガイドライン「ISO 30414」認証を取得

サントリーホールディングス（株）とサントリー食品インターナショナル（株）は、人的資本に関する情報開示の国際ガイドライン「ISO 30414」の認証を取得しました。

2025年11月

令和7年度「水循環ACTIVE企業」に認証

サントリーホールディングス（株）は、内閣官房水循環政策本部事務局の「水循環企業登録・認証制度」において、「水循環ACTIVE企業」に認証されました。



2025年7月

「CDP気候変動」「CDP水セキュリティ」において最高評価の「Aリスト企業」に選定

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPから高い評価を受け、「CDP気候変動2024 Aリスト企業」「CDP水セキュリティ2024 Aリスト企業」に選定されました。



2025年7月

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体である「CDP」から、「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に選定されました。



2025年6月

ESG投資の代表的指標「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選定

サントリー食品インターナショナル（株）（以下、SBF）は、ESG投資の代表的な指標の一つである「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。FTSE4Good Index seriesは、FTSERussell[※]社（英国）により開発されたインデックスで、環境・社会・ガバナンス（Environment・Social・Governance/ESG）について優れた対応を行っている企業を選定するものです。

※ FTSERussellはロンドン証券取引所が100%出資する企業で、インデックスの構築や管理などを世界規模で展開しています。

2025年2月

「人的資本調査2024」において「人的資本リーダーズ2024」および「人的資本経営品質2024（ゴールド）」を受賞

サントリーホールディングス（株）は、企業や団体などの人的資本経営や情報開示の取り組みを調査する「人的資本調査2024」において「人的資本リーダーズ2024」および「人的資本経営品質2024（ゴールド）」を受賞しました。



2025年1月

サントリー天然水 奥大山ブナの森工場およびサントリー天然水 南アルプス白州工場がAlliance for Water Stewardship（AWS）認証において最高位「Platinum」を取得

サントリー天然水 奥大山ブナの森工場およびサントリー天然水 南アルプス白州工場は、工場周辺流域の持続可能な水利用に関する「Alliance for Water Stewardship（以下AWS）」認証において、最高位である「Platinum」を取得しました。

2024年

2024年12月

「令和6年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」において「グリーン物流パートナーシップ会議 特別賞」を受賞

サントリーホールディングス（株）は、経済産業省および国土交通省が実施する「令和6年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」において、「グリーン物流パートナーシップ会議 特別賞」を受賞しました。

2024年11月

日経スマートワーク経営調査において最上位の「5つ星」を獲得

サントリーホールディングス（株）は、日本経済新聞がまとめた2024年の「スマートワーク経営調査」において、最上位の「★5つ（偏差値70以上）」の評価を獲得しました。

2024年6月

ESG投資の代表的指標「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選定

サントリー食品インターナショナル（株）（以下、SBF）は、ESG投資の代表的な指標の一つである「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。FTSE4Good Index seriesは、FTSERussell[※]社（英国）により開発されたインデックスで、環境・社会・ガバナンス（Environment・Social・Governance/ESG）について優れた対応を行っている企業を選定するものです。

※ FTSERussellはロンドン証券取引所が100%出資する企業で、インデックスの構築や管理などを世界規模で展開しています。

2024年4月

環境省「エコ・ファースト企業」に認定

サントリーホールディングス（株）は、環境省の「エコ・ファースト制度」における「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。



2024年3月

「健康経営優良法人2024～ホワイト500～」に認定

サントリーホールディングス（株）、サントリー食品インターナショナル（株）などグループ9社[※]は、「健康経営優良法人2024～ホワイト500～」の認定を受けました。

※ サントリー（株）、サントリーウエルネス（株）、サントリーグローバルイノベーションセンター（株）、サントリーシステムテクノロジー（株）、サントリー食品インターナショナル（株）、サントリービジネスシステム（株）、サントリースーツ（株）、サントリーブロダクツ（株）、サントリーホールディングス（株）の9社（五十音順）



2024年2月

「サントリー 天然水の森 赤城」が国有林で初めて「自然共生サイト」に認定

サントリーホールディングス（株）の水源涵養林「サントリー 天然水の森 赤城」は、国有林で初めて^{※1}、環境省が「30by30^{※2}」目標達成に向け推進する「自然共生サイト」に認定されました。

- ※1 「サントリー 天然水の森」は原則、国や自治体、民間の方々が所有する森林に対し協定を締結のうえ整備活動を行っています
- ※2 2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標。生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）にて採択された2030年までの新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」に盛り込まれました。



2024年2月

「CDP気候変動」「CDP水セキュリティ」において最高評価の「Aリスト企業」に選定

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPから高い評価を受け、「CDP気候変動2023 Aリスト企業」「CDP水セキュリティ2023 Aリスト企業」に選定されました。



2023年

2023年12月

LGBTQ+の取り組み指標「PRIDE指標」において最高評価の「ゴールド」を7年連続受賞

サントリーホールディングス（株）は、work with Prideが策定する「PRIDE指標2023」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しました。



2023年12月

「令和5年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」において「強靱・持続可能表彰」を受賞

サントリーホールディングス（株）は、経済産業省および国土交通省が実施する「令和5年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」において、「強靱・持続可能表彰」を受賞※しました。

※ 大王製紙（株）、ダイオーロジスティクス（株）、サントリーロジスティクス（株）の3社と共同で受賞

2023年12月

サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場が、
令和5年度緑化優良工場等表彰において「日本緑化センター会長賞」を受賞

サントリープロダクツ（株）サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場（長野県）は、令和5年度緑化優良工場等表彰において、「日本緑化センター会長賞」を受賞しました。

2023年11月

日経スマートワーク経営調査において最上位の「5つ星」を獲得

サントリーホールディングス（株）は、日本経済新聞がまとめた2023年の「スマートワーク経営調査」において、6年連続となる最上位の「★5つ（偏差値70以上）」の評価を獲得しました。



2023年10月

「サントリー 天然水の森」5カ所が「自然共生サイト」への認定

サントリーホールディングス（株）の水源涵養林「サントリー 天然水の森」5カ所は、環境省が「30by30^{※1}」目標達成に向け推進する「自然共生サイト」に認定されました。

※1 2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標。生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）にて採択された2030年までの新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」に盛り込まれました。

2023年6月

ESG投資の代表的指標「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選定

サントリー食品インターナショナル（株）（以下、SBF）は、ESG投資の代表的な指標の一つである「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。FTSE4Good Index seriesは、FTSERussell[※]社（英国）により開発されたインデックスで、環境・社会・ガバナンス（Environment・Social・Governance/ESG）について優れた対応を行っている企業を選定するものです。

※ FTSE Russellはロンドン証券取引所が100%出資する企業で、インデックスの構築や管理などを世界規模で展開しています。

2023年3月

Sedex Sustainability Awardsの「Data & Insights」部門で
日本企業初となる「APAC地域最優秀賞」を受賞

サントリーホールディングス（株）は、イギリス・ロンドンで開催されたSedex Xplore Sustainability会議におけるSedex Sustainability

Awardsの「Data & Insights」部門で「APAC地域最優秀賞」を受賞しました。同アワードで日本企業が受賞するのは初となります。

2023年3月

**CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において
最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定**

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体である「CDP」から、サプライヤー・エンゲージメント評価において最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に選定されました。



2023年3月

「健康経営優良法人2023～ホワイト500～」に選定

サントリーホールディングス（株）とサントリー食品インターナショナル（株）は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）～ホワイト500～」に認定されました。両社とも、同認定が開始された2017年以来、7年連続での認定となります。



2023年2月

**サントリー九州熊本工場が
Alliance for Water Stewardship（AWS）認証において「Platinum」を取得**

サントリー九州熊本工場が、工場周辺流域の持続可能な水利用に関する「Alliance for Water Stewardship（以下AWS）」認証において、最高位である「Platinum」を取得しました。

参画するイニシアチブ・業界団体

国連グローバル・コンパクト

サントリーグループは世界人権宣言や国連のビジネスと人権に関する指導原則など国際規範を支持するとともに、国連が提唱する「人権・労働・環境」についての普遍的な原則を提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名しています。



The CEO Water Mandate

サントリーグループは、「国連グローバル・コンパクト」のイニシアチブであり、水の持続可能性に関して企業の発展・実践・情報開示を支援する、水資源問題のグローバルプラットフォームである「The CEO Water Mandate」に署名しています。



The CEO Water Mandate

Water Resilience Coalition

サントリーグループは、企業が連携して水ストレスの高い流域で行動・投資・イノベーションを進め、世界の水資源のレジリエンス強化を目指す取り組みWater Resilience Coalitionにも署名しています。



AWS (ALLIANCE FOR WATER STEWARDSHIP)

サントリーグループは、「水のサステナビリティ」をグローバルにリードする国際機関Alliance for Water Stewardship[※]と日本における水のサステナビリティ推進のリーダーシップ企業として、2021年2月に連携協定を締結しました。また、日本で初めて同機関のメンバーシップ企業となりました。AWS認証は、世界中の工場を対象とした持続可能な水利用に関する認証で、水の保全やスチュワードシップ（管理する責任）の推進を目的としています。



※ 現在の機関名で記載。締結当時の名称は「AWSアジア・パシフィック」

SBT イニシアチブ

サントリーグループ環境目標2030において設定しているGHG排出量削減目標は、企業が科学的根拠に基づいたGHG削減目標を設定するよう働きかけ、審査・認定を行っているSBT（Science Based Targets）イニシアチブ^{※1}において、「1.5°C目標」の認定を取得しています。また、サントリーグループは、国連グローバル・コンパクト、SBTイニシアチブ、We Mean Business^{※2}が主宰する温暖化による世界の気温上昇を1.5°C以内に抑える目標づくりを呼び掛ける「Business Ambition for 1.5°C」に賛同し、署名しています。



※1 UNGC（国連グローバル・コンパクト）、CDP（気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で設立した国際的なイニシアチブ。企業が、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標を設定するよう働きかけています

※2 企業や投資家の温暖化対策を推進している国際機関やシンクタンク、NGOなどが構成機関となり運営しているプラットフォーム

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

サントリーグループは、金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD※）」提言への賛同を表明しました。



※ The Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略

➤ 詳細は「[TNFD/TCFD提言に基づく開示](#)」をご覧ください

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）フォーラム

サントリーグループは、ネイチャー・ポジティブに貢献する取り組みを加速すべく、2022年4月より「自然関連財務情報開示タスクフォース（以下TNFD※¹）フォーラム」に参画しました。また、2023年12月には「TNFD Adopter※²」に登録しました。



※¹ Taskforce on Nature-related Financial Disclosuresの略

※² TNFD提言に基づく開示を行う意向をTNFDのWebサイトで登録した企業のこと、登録した企業は2024年もしくは2025年会計年度情報に基づく開示が必要とされる

➤ 詳細は「[TNFD/TCFD提言に基づく開示](#)」をご覧ください

生物多様性のための30by30アライアンス

サントリーグループは、持続可能な社会の実現に向けて、生物多様性の損失を食い止め回復させることを目指す「生物多様性のための30by30アライアンス」に2022年4月に参画しました。



国立公園オフィシャルパートナーシップ

サントリーグループは、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しています。“日本の国立公園の魅力を世界に向けて発信し、国内外の利用者の拡大を図る”プログラムであり、この活動を通じて、人々の自然環境の保全への理解を深め、国立公園がある地域の活性化につなげることを目指しています。



SAIプラットフォーム

サントリーグループは、持続可能な農業を目指し2002年に設立された国際的な団体であるSustainable Agriculture Initiativeプラットフォームに2022年7月加盟しました。なお、日本企業として同プラットフォームへの参加は初めてとなります。



Biodiversify

サントリーグループは、自然資本コンサルティング企業Biodiversify社とパートナーシップを締結し、持続可能な原料調達に向けた農業戦略・ロードマップづくりに本格的に着手しています。



BIODIVERSIFY

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）

CLOMAは経済産業省の呼びかけにより設立され、プラスチック代替素材の開発・普及促進や、海外各国への情報発信と技術コンサルティングを通して、各国の状況に応じた効率的なリサイクルシステムの構築を目指す官民連携のアライアンスです。サントリーグループは、CLOMAに設立時点から参画しています。



Global Plastic Action Partnership (GPAP)

サントリーグループは、プラスチックによる環境課題の解決に取り組むグローバルなアライアンス「Global Plastic Action Partnership」に2019年11月に加盟しました。



プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025

サントリーグループは、持続可能な社会の実現に向け、2022年2月に企業がプラスチック諸問題の解決を目指す枠組みである「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」に参画しました。

IARD

サントリーグループは、国際的な適正飲酒推進の取り組みを進める組織「IARD[※]」に参画しています。サントリーグローバルスピリッツとして設立当初から参画し、世界保健機関（WHO）の「アルコールの有害な使用の低減に向けた世界戦略」（2010年採択）に対する酒類業界としての取り組みである「アルコールの有害な使用の低減のための業界コミットメント」の策定にも深く関わってきました。

※ IARD -International Alliance for Responsible Drinking（責任ある飲酒のための国際連盟）は世界の大手酒類メーカー13社が参画するワシントンDCに本部を置く非営利団体

The Valuable 500

サントリーグループは、障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に加盟しています。「The Valuable 500」は、2019年1月の世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）にて発足した、障がい者がビジネス、社会、経済にもたらす潜在的な価値を発揮できるような改革をビジネスリーダーが起こすことを目的とした取り組みです。



サントリーが参画している酒類・飲料業界団体の環境関連委員会

全国清涼飲料連合会（環境委員会、自販機委員会など）

▶ URL : <http://www.j-sda.or.jp/>

ビール酒造組合（環境部会、容器環境部会）

▶ URL : <https://www.brewers.or.jp/>

日本洋酒酒造組合（環境問題対策委員会）

▶ URL : <http://www.yoshu.or.jp/>

サントリーが参画しているリサイクル業界団体

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

▶ URL : <https://www.jcpra.or.jp/>

活動内容：容器包装の再商品化、普及啓発、情報提供

役職：総務企画委員、ガラスびん事業委員、PETボトル事業委員

公益社団法人 食品容器環境美化協会

➤ URL : <https://www.kankyobika.or.jp/> 

活動内容：飲料容器の散乱防止、環境美化

役職：企画委員

ガラスびん3R促進協議会

➤ URL : <http://www.glass-recycle-as.gr.jp/> 

活動内容：ガラスびんの3R推進

役職：理事、運営委員

PETボトルリサイクル推進協議会

➤ URL : <https://www.petbottle-rec.gr.jp/> 

活動内容：PETボトルのリサイクル推進

役職：理事、総務企画委員、回収・再利用促進委員、広報委員、技術検討委員、運営委員

アルミ缶リサイクル協会

➤ URL : <http://www.alumi-can.or.jp/> 

活動内容：アルミ缶のリサイクル推進

役職：理事、企画委員

方針一覧

サントリーグループの方針・規範類をまとめています。方針に基づく取り組みについては、ESGの取り組みの各ページをご覧ください。

サントリーグループ企業理念

サントリーグループ企業倫理綱領

- | | | |
|--|---|--|
| ＜ 日本語  | ＜ 英語  | ＜ フランス語  |
| ＜ スペイン語  | ＜ ポルトガル語  | ＜ ポーランド語  |
| ＜ オランダ語  | ＜ ドイツ語  | ＜ ラテンアメリカスペイン語  |
| ＜ ブラジルポルトガル語  | ＜ 簡体中文  | ＜ 繁体中文  |
| ＜ 韓国語  | ＜ タイ語  | ＜ ベトナム語  |
| ＜ マレー語  | ＜ インドネシア語  | |

内部統制システムに関する基本的な考え方

＜ Anti-Bribery Measures

＜ サントリーグループ・グローバル税務方針

＜ サントリーグループ サステナビリティビジョン

＜ サントリーグループ環境基本方針

＜ サントリーグループ「水理念」

＜ 「環境ビジョン2050」 / 「環境目標2030」

＜ サントリーグループ「プラスチック基本方針」

サントリーグループ人権方針

- | | | |
|--|--|--|
| ＜ サントリーグループ方針（日本語）  | ＜ サントリーグループ方針（英語）  | |
| ＜ サントリーグループ方針（簡体中文）  | ＜ サントリーグループ方針（繁体中文）  | ＜ サントリーグループ方針（フランス語）  |
| ＜ サントリーグループ方針（インドネシア語）  | ＜ サントリーグループ方針（スペイン語）  | ＜ サントリーグループ方針（タイ語）  |

➤ サントリーグループ方針
(ベトナム語) 

➤ サントリーグループサステナブル調達基本方針

➤ サントリーグループ・パートナーガイドライン

➤ サントリーグループグリーン調達基準

➤ DEI Vision Statement / Strategic Pillars

➤ Employee Value Proposition - 従業員価値提案

➤ Suntory Leadership Spirit

➤ 健康経営宣言

➤ お客様志向自主宣言

➤ お客様満足のための基本方針・行動指針

➤ サントリーグループ カスタマーハラスメント対応方針 

➤ サントリー品質方針

➤ 健康方針

➤ 適正飲酒のために——サントリーの基本理念・行動指針

➤ サントリーグループ社会貢献活動方針

➤ サントリーグループ情報セキュリティ基本方針

➤ サントリーグループ ソーシャルメディアポリシー

➤ サントリーグループ AI基本方針

マルチステークホルダー方針

- サントリーホールディングス株式会社 
- サントリービバレッジ&フード株式会社 
- サントリープロダクツ株式会社 
- サントリーフーズ株式会社 
- サントリービバレッジソリューション株式会社 
- サントリー株式会社 

サステナビリティ情報の編集方針

➤ サステナビリティ情報の編集方針 ➤ GRI内容索引 ➤ SASB対照表

サントリーグループはWebサイトを通じて、サステナビリティのさまざまな取り組みをお伝えしています。

サントリーグループサステナビリティサイト2026

本サイトは、サントリーグループの「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす」というパーパスのもと、重点的に取り組んでいる活動やサントリーらしい取り組みの情報を網羅的に掲載しています。

サステナビリティ関連データ集やグループ会社独自の取り組み、社会との対話などの情報も充実していますので、目的に応じて閲覧ください。

対象範囲

対象組織

サントリーホールディングス株式会社を含む国内・海外グループ会社259社を対象にしています。

なお、環境データは、サントリーグループ売上高の9割を占める事業会社群が所有する国内生産27工場、海外生産52工場を対象とし、人事データは、データ範囲を個々に記載しています。

対象期間

- 2025年1月1日～2025年12月31日の活動を中心に報告していますが、一部対象期間外の実績も含めます。

参考にしたガイドライン

- GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- SASB「SASBスタンダード」
- 環境省「環境報告ガイドライン（2018年度版）」

発行時期

2026年7月（前回発行：2025年7月）

第三者保証

サントリーグループ サステナビリティサイトなどで報告しているデータの一部は、デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社による、国際保証業務基準（ISAE）3000、ISAE3410に準拠した第三者の保証を受けています。

お問い合わせ先

サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部
情報開示グループ